

2007年

8月6日(月)、7日(火)

am9:30 ▶ pm18:00 (7日はpm16:30まで)

憲政記念館

(国会議事堂敷地内)

東京都千代田区永田町1-1-1

アクセス

- ◎東京メトロ、丸ノ内線、千代田線
国会議事堂前駅下車
2番出口より徒歩7分
- ◎有楽町線、半蔵門線、南北線
永田町駅下車 2番出口より徒歩5分



参加費

二日間事前申込 **5000円**
(事前参加申込は7月20日迄、郵便振替にて)

当日参加 **6000円**

部分参加 **3000円**

晩餐会参加 **10000円**

(事前予約が必要です。申込み締め切り7月20日)

JSA事務局 申し込み先

JSAコーディネーター ジェニー・高山
Tel 046-243-3561 Fax 046-243-3562
CP 080-1106-9582
事務・総務局長 大野雅敏
CP 070-6561-4729
事務・総務副局長 秋山昌代
会計 ウイルマー・ガルシア
秘書 バンジー・吉川

銀行口座

●みずほ銀行 郡山支店(普) 1091451
口座名義 奥山 実

○郵便振込口座 10030-17361
口座名義 エルサレムサミットアジアIV

事務局

〒963-8811 福島県郡山市方八町2丁目7-17
世界宣教センター内 エルサレムサミットアジアIV
Tel&Fax 024-956-7132
e-mail clgc@wmc-japan.jp

後援:イスラエル大使館 共催:都市総合インベストバンク

日出る国とエルサレムの会合によるこそ!

東京大会 エルサレム・ サミット Asia IV

稲妻が東から西へひらめき渡るように
(マタイ24:27)



日本講師 (スピーカー)

ごあいさつと
スピーチ



山田敏雅
(元衆議院議員)



奥山 実
(大会会長)



大久保みどり師

メッセージ

土肥隆一 衆議院議員
大会副会長NRA事務局長
主イエスキリスト教会
大久保みどり

ごあいさつとメッセージ

横山 隆 (大会実行委員長)

証言とメッセージ

小笠原孝 (聖教団/練馬キリスト教会)
李 華 峰 (万国祈りの家牧師)

トラーの光に輝らされた
科学と人間

阿部正紀 (東京工業大学教授)
professor Tokyo Institute of technology

アリヤー (イスラエル帰還) の
ユダヤ人について

鈴木元子 (静岡文化芸術大学教授)

各界賛同者

実業 (ビジネス)

柳瀬公孝 (都市総研 (株) 代表取締役)
杉 浩二 (サンビルダー代表取締役)
西本誠一郎 (株) めぐみ堂 / (株) シェルター代表

学術 (アカデミック)

小泉 仰 (慶應義塾大学教授)
阿部正紀 (東工大教授)

政治 (ポリテック)

土肥隆一 (衆議院議員)
木俣佳文 (参議院議員)
山田敏雅 (前衆議院議員)

法曹 (Law)

佐々木満男 (国際弁護士)
(アンダーソン・毛利・友常 法律事務所)

ヘブライ文化 (ユダヤ学)

阿部 望 (ヘブライ文化協会理事)
鈴木元子 (静岡文化芸術大学教授/牧師)

イスラエル講師 (スピーカー)

マリッサ・アルバート (Jsa事務局長)

ベニー・アロン (国会議員・ラビ)

キデオン・サアル (イスラエル国会議員)

デイビット・ロテム (イスラエル国会議員)

観光大臣

イッハク・アハルノウィッチ
ティミトリー・ラティジェフスキー

パレスチナ問題報道担当

イタエル・マルカス

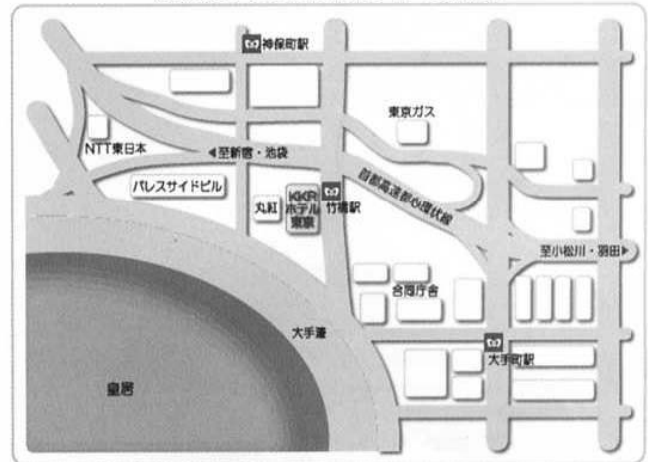
大学教授

Dr. マルチン・シェアーマン

エルサレム・キング・オブ・キング牧師

ウェイン・ヒルズディン

〈会場近くのKKRホテルの案内〉



KKRホテル東京

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1
03-3287-2921 (代表)
03-3287-2913 (FAX)
<http://www.kkr-hotel-tokyo.gr.jp/>

部屋タイプ	標準料金 / 要利用人数
シングルA	¥10,000 / 1人
シングルB	¥12,500 / 1人
シングルC	¥11,500 / 1人
ダブルA	¥11,500 / 1人 ¥17,000 / 2人
ダブルB	¥13,500 / 1人 ¥18,600 / 2人
ツインA	¥11,500 / 1人 ¥18,000 / 2人
ツインB	¥15,000 / 1人 ¥20,000 / 2人

親愛なる日本のクリスチャンへ

王の王、メシアなるイエスが再臨され、エルサレムにおける千年期の御支配のために、私たちが準備させておられます。主の御名を崇めてシャローム!

エルサレム・サミットの目的は、新しい人 (救いを信じるユダヤ人と異邦人) が一体となり、霊的な関係を築くことを目的と致します。世の終わりの時代に暗闇の王たちと王国は、来るべき王に対し宣戦布告し、来るべき王の聖都エルサレムは紛争の中心となります。サタンはエルサレムの王座を求めています。今こそ互いの手を取り合い、互いに歩み寄り、ユダヤ人とクリスチャンによる新しい関係を構築しようとしています。まず、互いに

背中を向けてきた関係は贖われ、回復されなければなりません。婚姻の前には、忍耐強く、時間をかけて求婚し、結婚という時を迎えることができます。私たちは、ユダヤ人が理解できないということに対して忍耐を持たなければならないのです。『父よ、彼らをお赦しください。彼らはなにをしているかわからないのです。』と。

敬愛する日本の兄弟姉妹の皆さん、私は祈っています。私は皆さんと分かち合いたいことがたくさんあります。私たちが聖霊の豊かな満たしによって御言葉が開かれ、イスラエルとアジアの中の日本が良い交わりをもつことができますように。東方に位置する日本とシオンの間に、

マリッサ・アルバート



そして神の栄光のために創造された3000の異なる島々の間に、神が橋を作ってください。ということは、なんと素晴らしい祝福ではないでしょうか。これは、イザヤ書24章15~16節に預言されていた通りです。神をほめたたえます。神の光は国々の上に輝き (イザヤ60章1~3節)、メシアにあって私たちは完成させていただくのです。今回のエルサレム・東京サミットが、アブラハム・イサク・ヤコブの神の祝福を豊かに受けることを祈り、待ち望みます。ぜひ、イスラエルを愛するクリスチャンの皆様方とお会いできますように。